

職場体験をして、

## 仕事の大変さがわかったと同時に 楽しさもわかりました。

僕たちは、「新商品をつくる」というミッションのもとで、「どうしたら若い人に興味をもってもらえるだろうか」と悩みながらパッケージをつくったり、味見をしたりしました。

3日間という短い期間だったので大変でしたが、自分たちの考えた商品が売られることが決まり、達成感と喜びでいっぱいです。



Student

生徒の

職場体験でたくさんの人が私たちを担当してくれ、丁寧に教えてくれました。シリコーンの特徴を生かした商品を自分たちで考え、たくさん意見が出ました。考えたものが形になるというのはとても嬉しかったです。メンバーと教え合い、考えることは素晴らしいことだと改めて思いました。

Office 事業所の

声!!

先生の

Teacher

生徒の発想力、ひらめき、行動力が長けており驚きました。また、弊社に入社したいと言ってくれた時はとても感動しました。



若い視点での情報発信方法を見ることができたので勉強になりました。

人の話をよく聞くことで世界が広がっていくと感じました。  
生徒さんを見習い頑張りたいです。



生徒の企画を実現させようと考え動いてくださる事業所と連絡を取り合っています。イベントで終わらずに、継続的なかわりを事業所と持てることは、学校にとってありがたいことだと感じています。



事業所が地域で課題だと思っていることを、人とつながり、かわることから生徒に知ってもらうことができました。課題の解決がビジネスチャンスにもつながると思うので、中学生をはじめ、様々な分野の方々とのかかわりを大切にしていきたいと思っています。



Question

Q1

ミッションをつくることは、どんな効果やねらいがあるのですか？



Q&A 事業所・先生の疑問に答えます

A1

Answer

ミッションをつくることで中学生の主体性と課題解決力を育てます

~~~~~

従来の職場体験では、作業を中心に、中学生ができる範囲でお手伝いをしてきました。しかし、課題解決型職場体験では、あらかじめ事業所から「ミッション」を提示され、中学生はミッションに応える提案をすることを目標に、職場体験期間を過ごします。中学生は主体的に考え行動することができ、仕事の面白さや醍醐味を理解する中で、中学生ならではの新たなアイデアを提案する機会が生まれます。

Question

Q2

課題解決型職場体験のための十分な時間を確保する余裕がありません。



A2

Answer

教科や学校行事と関連付けることも可能です

~~~~~

総合的な学習の時間だけでなく、教科の時間と連動させることもできます。例えば、

- 英語の時間と連動して、自己紹介や職場体験で發揮したい得意な事を整理し伝えられるよう練習する
  - 道徳の時間と連動して、自分の将来の姿を思い描く
  - 社会の時間と連動して、職場体験に行く業種について調べ学習をする
- 詳細は P18 へ
- など、教科の時間を活用しながら、職場体験の事前事後学習を進め、短時間でも深い学びをつくり出せるよう工夫しましょう。

Question

Q3

課題解決型職場体験を受け入れる事業所のメリットはありますか？



A3

Answer

社内の人材育成の機会として活用

~~~~~

中学生の目線に立って、職場体験を企画・実施することは、社内の人材育成にもつながります。特に入社5年目ぐらいまでの社員が中心となり、ベテラン社員がフォローアップすることで、わかりやすく仕事を伝えるプレゼンテーション能力や、体験を組み立てる企画力をつける若手社員教育の場にもなります。

長い目で見た人材採用やファンづくりへ

~~~~~

長い目で見た人材採用の機会とも言えます。佐渡の子どもたちに、会社の存在や魅力を知ってもらえば、いつかこの会社に入りたいと就職時の選択肢になったり、将来のお客様=ファンになったりもします。実際に、課題解決型職場体験を経て、「この会社に将来就職したい!」と言ってくれた中学生もいます。